

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会

DO YOU KNOW? にいがた



NOV 2025
Vol.450

11

よい会社、よい経営者、よい経営環境を目指す



障がい者が諦めなくていい 社会の実現へ

【MAZAQ株式会社 代表取締役】小竹 康裕 氏 柏崎支部

同じ志を持つ
企業を増やしたい



PROFILE

小竹 康裕さん

MAZAQ 株式会社 代表取締役

起業とターニングポイント

2022年、元々副業として行ってきた携帯電話を使ったインターネット物販事業をベースに、(株)Uniaiceを創業します。今後IT業界は絶対に伸びてくる、という自信があり事業として楽天にネット店舗として参入しました。地方にいと流行りものはなかなか手に入らない時代です。妻と共に始めた事業でしたが、売上が増える中でパートさんを採用。グーグル等大手IT企業にあこがれていた私は、給料は真似できなくても、それ以外は取り入れようととにかく働きやすい環境を大切に、ライフステージに合わせた働き方ができる仕組みを整えました。

多くの企業の参入により市場が拡大し、伸び悩む時期はあったものの、爆発的なヒット商品も取り扱うことができ、更に上り調子でした。ところが2015年、突然主力の店舗が運営元から閉店に追い込まれました。ネット販売のリスクとして考えていたことではありませんが、「まさか自分が」という思いでした。未入金の上上も回収できないままその店舗の売上は0、多額の借入の返済期限も迫っていました。絶望の中、社員さんに謝罪しながら事情を説明。残りたいと言ってくれた方もいましたが、残った店舗での売上では雇用は維持できず、全社員を解雇することとなりました。

「社員さんの人生を狂わせてしまった。返済はどうすれば。」パニックに陥っていた私を励ましてくれたのは、一緒に事業を行ってきた妻の「大丈夫、大したことはない」という言葉でした。



① 利用者とスタッフの打ち合わせの様子 ② 屋外事業
③ ペーカリー部門 ④ パン屋さん内部 ⑤ エントランス

「向き合ひべきこと」 MAZAQ(株)のスタート

私たちには2人の子供がおり、第2子の長女は先天性の難病を発症していました。14歳まで生きられるかどうかと診断され、症状が出る入院となってしまう状態でした。私たちが向き合わなければいけない絶望と比べたら、今の状態は大したことはない。そう思い、できることを「ひとつ」やっていきました。結果として、完全ではないものの終息し、未入金の上上も回収でき、1つの危機は去りました。閉店した店舗は戻ってきませんが、蓄積されたノウハウのおかげで、再び事業を進めていくことを決意できました。トラブルから3か月後、一方的な解雇となった社員さん全員に「勝手だとは思いますが戻ってきてほしい」と連絡。すでに再就職をしている方もいましたが、5名中3名が復帰してくれました。本当にうれしかったです。

また、この時から、同じ轍を踏むことがあってはいけなさと、事業の転換についても考えるようになりました。元々、2010年頃から自社におけるIT事業の天井が見えてきており、何か始めたいと考えていました。そこで2022年にスタートしたのが(株)MAZAQでした。

生活を守り、暮らしを守り、 社会を変える

娘が大きくなっていくにつれ、「余命はあるが、もっと長生きをしてくれた時にどんな人生になるのだろう」と、障がい・難病を抱える子供たちの将来を考えるようになっていきます。また、同様に障がいを抱える子供を持つ保護者と繋がる機会も多く、福祉事業所や障がい者雇用に対する不安を耳にすることが増えまし

た。福祉事業について調べていくと、「自分の娘を預ける」ということに確かに不安を感じました。それならば、「娘に寄り添いながら事業ができないか?」「自分たちのノウハウを生かすことができるのではないか?」と考えるようになり、就労継続支援A型B型事業所を立ち上げ、地域活動支援センターの運営も市に申請し、利用者が自身のステージに合わせ環境を変えずに働き続けられる事業所にしました。

既存の社員さん全員は、MAZAQに移行し仕事内容はほとんど変わりませんが、社会貢献や福祉事業のやりがいを話してくれることもあり、とても感謝しています。子どもの頃から会社で顔をみていた娘も高校2年生になり、彼女の夢がパン屋さんだったことから、ペーカリー部門もスタートしました。とにかく事業としての成果を上げ家族社員の生活を守りながら、私たちの目指す「障がい者が諦めなくていい社会の実現」へ「ひとつ」取り組み、同じ志を持つ企業が増えてくれることを願っています。



MAZAQ株式会社

代表取締役：小竹 康裕 氏(柏崎支部)
事業内容：障害者就労継続支援A型B型事業所・
地域活動支援センターⅢ型
住所：柏崎松波2丁目3-29(施設名 GRANBASE)
TEL：0257-47-7005 <https://www.mazaq.jp/>
創業：2022年 従業員数：12名

小竹さんの
会社は
コチラ!

支部・委員会・部会活動報告



市長懇談会

佐渡支部

同友会の実践で
佐渡島内に活力を!

佐渡支部は今年度、①連携の創出②最先端の学び③住みよい地域づくりを重点に、仲間づくりと会員の居場所づくりを進めています。例会では島内の地域経営課題を取り上げ、解決策をグループ討論で深めています。食部会と合同で6月に広島市の株式会社EVENTOSを訪問し、8月は経営者交流会in佐渡、9月は市長懇談会を実施して行政・金融・地域団体との協働を強化。昨年度末に年間スケジュールを策定し、2〜3か月前から準備する体制も確立しました。若手が主体的に企画し、懇親会や情報交流会など「飲みみケーション」で率直に経営を語り合う風土が醸成。各団体での案内と別会での一人一名以上の周知によりゲスト参加が増え、認知向上と会員拡大を推進中です。討議の気づきは次回の実践へ反映し、新入会員のフォローも継続。2025年度末の会勢目標は36名(現33名)。一方で参加の固定化という課題に対しては、下期は入会2〜3年層・新入会員へのフォローと月1回のオリエンテーション参加促進、理解促進の環境整備や組織見直しを進め、退会抑制と増強につなげ、実践と学びで島内の活力に貢献します。また、支援制度の活用や共同企画、会員間の連携案件の創出にも取り組みます。

佐渡支部長 柴原 健司
(セイデンテクノ(株)取締役社長)記



9月経営者交流会
報告者の遠藤氏



懇親会
集合写真

上越支部

トリプルLOVEで広げる
仲間の輪

2025年度の上越支部は、スローガン「凡事徹底」のもと、郷土愛・会社愛・自分愛「トリプルLOVE」をテーマに掲げています。「生き残りたい・成長したい・成功したい」という熱い想いを共有し、共に幸せになる仲間づくりを目指しています。

重点は「質の高い学び」と「楽しい交流」。通常例会では報告者から実践的な気づきを学び、自社の成長に活かす仕組みを構築。懇親を深める「Eggo's会」(納涼会・望年会・立春会)では、オールフリース席で名刺交換や会社アピールタイム、物販も行い、経営と人間関係を同時に高める工夫をしています。

また、地域行事(マゼランフェスタ・キッズアカデミーなど)への参加を通じ、地域貢献と自社PRを両立。行政や議員との協働も進めながら、会員同士の絆をさらに強化しています。

今年の抱負の漢字は「結」。仲間を「結び」、地域と「結び」、成果へと「結ぶ」。上越支部は笑顔と情熱で「つながる力」を形にしていきます(10月には新規会員2名が加わり、勢いはさらに加速中!)

上越支部長 鷲澤雅皇
(上越トヨ一住器(株)代表取締役)記

(一社)新潟県中小企業家同友会には5つの委員会・4つの部会があり、希望する会員は委員会・部会にいくつでも入ることが出来ます。合計9つの委員会部会は経営の課題ごとに分かれており、それぞれのテーマを専門的に学び、問題を解決していくところです。現場に直結した専門分野を深く学び、経営課題を解決するために共に学ぶ活動を行っています。



魚沼支部

2025年10月28日魚沼支部設立 魚沼支部長として意気込み

魚沼支部会員の皆様、そして地域の皆様。魚沼支部の設立を迎えるにあたり、支部長として心からの喜びと、身の引き締まる想いでおります。私たちの活動は、設立理念である「地域を愛し、地域を考える熱い想いのある人を募り、自社のみならず地域の将来を見据えた経営を考えていきたい」という精神に基づいています。支部スローガンに掲げた「地域の未来を灯す！我ら魚沼の企業家魂」の名の通り、私たち一人ひとりが学び、高め合い、地域の豊かな未来創造に貢献していくことが使命です。人口減少や担い手不足といった地域課題を、自社の経営課題として捉え、行政や教育機関などとの連携を通じて解決への種をまいていきます。

また、「経営指針の成文化と実践」を通じて、社員が誇れる「よい会社」づくりを目指し、変化に強い企業体質を共に築きましよう。「自主、民主、連帯」の精神のもと、温かい仲間づくりを進め、会員数30名の目標達成に向けて、「魚沼地域に、同友会の輪」を広げてまいります。

6月号で掲げた抱負「魂」には、魚沼支部が目指す、企業家としての熱い想いと、地域に対する深い愛が込められています。これは、支部スローガンにある「我ら魚沼の企業家魂」に象徴されています。

この熱い想いを結集し、共に誇れるふるさとを創ってまいります！

魚沼支部長 青木 満昭

(株)大和環境 代表取締役 記

広報情報化委員会

人との出会いに感謝！ 様々な気づきがあります!!



新潟日報記者の方との懇親会



へんじんもっこさんのジェラート部門

広報情報化委員会では、「同友にいがた」の取材で、毎月2〜3社の会員企業へ訪問しております。会員さんの直接の声、その場での質問、会社見学が出来るので、非常に気付きが多く、貴重な体験が出来ます。改めて思うのは、同友会だからという事で取材を引き受けて頂いているので、これが広報情報化委員会の醍醐味ではないかと思えます。

8月には、久々に佐渡への取材へ行かせていただき、佐渡支部の方との交流をしました。取材と併せて、会員さんのところで美味しいご飯・デザートを食べ、満足のいく取材となりました。

また、昨年から復活しました新潟日報の記者の方と交流会を今年も主催させていただきました。記者の方と話をさせていただくと、常に情報を探しているとのこと、こういう機会を通じて、会員さんの事、中小企業の事が、メ

ディア関係に取り上げられるきっかけになったら、うれしく思います。今期中に第2回目を開催しようとして現在調整中です。開催にあたり、新潟日報社の方も業種ごとに担当が決まっていると前回知りましたので、今回は事前にとの担当が参加されるのか確認を行い、参加される会員さんの業種にマッチできるようにしていきたいと思えます。

広報情報化委員会の活動を通じて、色々な人との出会い、話を聴かせていただき、感謝しております。引き続き、取材依頼があった際は、皆様、宜しくお願いいたします。

広報情報化委員会 委員長 品田 敦司
(株)シナゼン 代表取締役 新潟支部セントラル地区 記

《新入会員紹介》

入会おめでとうございます。新しく入会された会員を紹介します。》

①役職 ②業務内容 ③支部 ④入会日 ⑤紹介者



かみむら すみたか

上村 純孝

大和加工(株)

- ①代表取締役
- ②自動車販売・整備
- ③柏崎支部
- ④2025年3月27日 入会
- ⑤青木満昭

大和加工株式会社の代表取締役 上村純孝と申します。南魚沼市大和地区で屋号エリアマックスという自動車販売、車検修理(認証工場)を行っている会社です。活発に例会に参加していきたいと思っています。沢山の会員さんにお会いできること楽しみにしております。



いからし たくみ

五十嵐 巧

(同)メロディ

- ①代表社員
- ②障がい福祉サービス事業所運営
- ③新潟支部サウス地区
- ④2025年5月27日 入会
- ⑤塚田忠幸

新潟支部サウス地区に入会しました、合同会社メロディの五十嵐巧です。日ごろは、新潟市秋葉区で障害福祉サービス事業所を運営しております。経営者歴が浅いので、経営に関することなど知りたくて入会しました。よろしく願いいたします。



さいとう あつひろ

齊藤 篤博

TM共同法律事務所

- ①共同経営者
- ②法的サービスの提供
- ③燕支部
- ④2025年6月3日 入会
- ⑤吉田智

燕支部に入会しました、TM共同法律事務所の齊藤篤博と申します。新潟市中央区にて法律事務所を仲間5人で共同経営しております。出身は西蒲区で、三条・燕地区のお仕事が多い関係で燕支部に入会させて頂きました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



まとう こうじゅん

間藤 公潤

(株)マトー

- ①専務取締役
- ②屋根工事(瓦、金属等)、建築板金、太陽光パネル設置、立木伐採
- ③新発田支部
- ④2025年6月9日 入会
- ⑤新井田慎

新発田市を中心に瓦・板金屋根工事、外壁・外装工事、樹木伐採工事を行う建設業を営んでおります。経営指針を策定したいと思っていたところ御縁があり同友会にご紹介いただきました。経営にはまだ不慣れなところが多々あるので同友会を通して実践していきたいです。



きりゅう さとる

桐生 悟

(株)トピアホーム

- ①代表取締役
- ②一般住宅・店舗の新築、リフォーム、不動産仲介、買取再販
- ③柏崎支部
- ④2025年6月26日 入会
- ⑤大平克彦

南魚沼市で住宅・店舗の新築・リフォームなど建築業営んでおります株式会社トピアホームの桐生と申します。この地域の発展には事業者の連携協力は欠かせないと思っています。経営を学び、私も微力ではありますが地域に協力出来ればと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。



わかき かずこ

若木 和子

TREEL

- ①代表
- ②キャリア相談、研修、人材育成支援
- ③新潟支部セントラル地区
- ④2025年7月8日 入会
- ⑤草間光夫

キャリアコンサルタントの若木和子と申します。社員研修や人材育成など、キャリア支援を通じて人と組織の成長を支援しています。様々な業種の皆さまと交流し、学び合い、共に成長していけることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。



山岸進也さん



土田隆太郎さん

私とお話しませんか？

会員交流の館

今月は中小企業経営フォーラム第一分科会で
室長の山岸進也さん(株佐藤工業 村上支部)が
座長の土田隆太郎さん
(株新潟ヒロタカデザイン事務所
新潟支部セントラル地区)へ訪問の様子を
お届けします。

vol.26

山岸…中小企業経営フォーラム第一分科会の
室長を拝命して、座長を務められる土田さん
を知り、同じ建設業で住宅を建てられている
ことから、今回色々お話を聞きたいと思いまし
た。家業を継がれていらっしゃると思いますが、や
り子供のころから建設に興味があったのでしょ
うか。また、私は妻の父が創業で次の社長はお
前だと周りから言われているのですが、会社を
継がれるにあたっての覚悟のようなものについ
て教えてください。

土田…私は3代目になるのですが、父が創業し
ても社員になると変わってしまう、挑戦する覚
悟を忘れてしまつた人もいました。家で勉強す
る事も残業だという始末で、こちらは諦めるし
かありませんでした。

山岸…私は妻と付き合つ際に、付き合つて結婚
したら妻のお父さんの会社に入つて継がなけ
ればいけないかもしれないと言われて、ある程
度覚悟を持つて今に至るのですが、子どものこ
ろ大工さんになりたいという夢を持っていた
こともあり、良かったと感じています。覚悟と
いえば今回中小企業経営フォーラム第一分科



会で遅くに出来た子供だったので、2代目に現会長の太
竹が社長をして、35歳で社
長に就任しました。今考え
ると若くして社長になった
と感じますが、父からは「お
前がやりたいように挑戦し
て、会社をつぶしてもいい」
と言われて引継ぎ、大きな
プレッシャーを感じつつも、
少し気持ちが楽になりました
。仕事をやるうえで立場
はどうあれ覚悟は必要だと
思っていて、採用する際にも
必ず相手に「覚悟を持って
働いてほしい」と言うよう
にしています。採用する側
は社会人として成長しても
らうために様々な労力をか
けて教育します。それに対
してぬるい感覚で応えられ
てはたまりません。しっか
りと期待にこたえて成長し役
に立つ覚悟が必要だと思っ
ています。確認して採用し

て遅くに出来た子供だったので、2代目に現会長の太
竹が社長をして、35歳で社
長に就任しました。今考え
ると若くして社長になった
と感じますが、父からは「お
前がやりたいように挑戦し
て、会社をつぶしてもいい」
と言われて引継ぎ、大きな
プレッシャーを感じつつも、
少し気持ちが楽になりました
。仕事をやるうえで立場
はどうあれ覚悟は必要だと
思っていて、採用する際にも
必ず相手に「覚悟を持って
働いてほしい」と言うよう
にしています。採用する側
は社会人として成長しても
らうために様々な労力をか
けて教育します。それに対
してぬるい感覚で応えられ
てはたまりません。しっか
りと期待にこたえて成長し役
に立つ覚悟が必要だと思っ
ています。確認して採用し

対談者

企 業：(株)佐藤工業
取 締 役：山岸 進也 氏(村上支部)
事 業 内 容：建設業、不動産取引業、建築業

訪 問 企 業：(株)新潟ヒロタカデザイン事務所
代表取締役社長：土田 隆太郎 氏
(新潟支部セントラル地区)
住 所：新潟市中央区堀之内南2-19-14
創 業：1968年
事 業 内 容：デザイン建築の設計・施工・監理。
一級建築士事務所

例会や行事の報告など、情報共有の場としてフリーテーマで同友会の情報を発信します。

青年部会特別例会 絶対に青全交に行く理由がそこにはある！ [NEXT STAGE]開催レポート



パネリストのみなさん

報告者の西山彰一郎氏



10月7日朱鷺メッセにて、青年部会特別例会が開催されました。11月20日に迫る香川青全交。その先にある2028年青全交の新潟誘致に向け、青全交の魅力、全国大会の学びを共有することを目的とし、香川青全交実行委員長のオートモルジャパン(株)代表取締役西山彰一郎氏からご報告していただきました。また、猪又隆一氏(新潟支部)関原英里子氏(上越支部)諸橋晋太郎氏(新潟支部)によるパネルディスカッションも行われ、体験談と実践をお話しいただきました。参加された方から、パネルディスカッションのコーディネーターの水澤崇裕氏を含め3名の方の感想を紹介します。

(株)水澤商店

代表取締役 水澤 崇裕氏

(新潟支部セントラル地区)

11月20・21日に開催される香川青全交に私は初参加します。10月7日に行いました青年部会特別例会を通して、青全交はとても素晴らしい場所だと感じた点がありました。それは、①出合いの場、②学びの場、③楽しむ場の3つです。青全交は約2000人の経営者が集まり、20の分科会、懇親会、翌日の講演でそれぞれが学びを得ます。2日間の濃い事にとってもわくわくしています。

特に私が楽しみにしているのは出合いの場としての青全交です。切磋琢磨しあえる仲間と出会えたと言った話が印象的で、私もそういう仲間をつくりたいと思いました。

出合い、学び、楽しんだ後は④結果を出す、という事も忘れずに、青全交を一杯楽しみたいと思います。

最後に、皆さん！一緒に青全交に行きましょう！

ライフラボ行政書士事務所

代表 長谷部 直人氏

(新潟支部ウエスト地区)

香川青全交実行委員長 西山彰一郎氏の特別報告では、同友会運動に真摯に取り組み自社経営に活かしてきた実践事例を聴き、今後の同友会活動への関わり方について改めて考える良い機会となりました。また、新潟に青全交を誘致することの意義を理解することもできました。

参加経験のあるパネリスト3人と、現地未参加のコーディネーターによる、ディスカッションからは全国イベントに参加する意義と自社への活かし方について話を学ぶことができました。あなたは県外で学ぶ価値を実感していますか？というテーマのグループ討論では、「県毎の空気が違う」、「自県とは違う学びを得られる」という意見があったことが印象的でした。

(株)近藤製作所

専務取締役 近藤 洋平氏

(新潟支部ウエスト地区)

今回の例会は、全国行事や県外の行事に参加するとどんなことを得られるのか、その魅力を伝え、全国行事、県外行事への参加の機運を高める、普段とは少し異なる形の例会でした。

西山さんの報告の中で「全国行事に参加することで自分・自社の立ち位置が明確になり、高めあえる仲間ができた」と仰っていました。異なる地域で異なる背景を持つ方々の意見考えに触れることは自分の視野を広げることにつながり、刺激になると感じました。

懇親会では「水の流れと同じで、止まっていたら激んで濁るが、流れていけば濁らない。同友会も同じ」という言葉が印象に残りました。また、今回の例会に東京・群馬・山梨から会場参加 徳島からNPO参加の会員さんがあり、「高めあえる仲間ができる」片鱗を垣間見ることができたように思います。

県外の行事へも可能な限り足を運び、成長していけたらなと思った、良い例会でした。

DO YOU KNOW? にいがた

2025年11月1日号

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会
広報情報化委員会

住所：〒950-0901 新潟市中央区弁天1丁目1-16 サンテラス石宮2-A

TEL：025-288-1225 FAX：025-288-1226

E-mail：info@niigatadoyu.jp

HP：https://www.niigatadoyu.jp/

頒価250円(年間3,000円・送料別) 会員の購読料は会費に含まれます。

編集後記

広報誌に関わっていると、企業・経営者の深い話をその会社を見学させてもらいながら学ばせてもらうことができます。特集の小竹さんのお話は、特集に書ききれないこと、書きにくいこともたくさんありました。お話から、私自身の人生観にも少し影響のある内容もお聞きすることができました。どの企業へ行っても、学ぶことがたくさんです。どんな話を聴きたいのか、あの人の話を聴いてみたい、から取材先へ伺わせていただいています。他社の話が聞きたい、こんなことを聞いてみたい、という課題がある方は、ぜひ広報情報化委員会へご参加ください。

(一社)新潟県中小企業家同友会 事務局主任 高橋 拓夢 記